

今週のメニュー

■トピックス

- ◇塩ビリサイクル支援制度報告会を開催
—塩ビ壁紙のマテリアルリサイクル技術の開発—

■随想

- ◇2002年 レバノン旅行記（8）—お医者さん大バーゲン—
一般社団法人 日本化学工業協会 若林 康夫

■トピックス

- ◇塩ビリサイクル支援制度報告会を開催
—塩ビ壁紙のマテリアルリサイクル技術の開発—

塩ビリサイクル支援制度において、2016年12月に採択した（株）照和樹脂の「高速・高剪断混合溶融機によるマテリアルリサイクル技術の開発」の成果報告会を3月28日（水）にVECで開催しました。これまでリサイクルが困難とされてきた塩ビ複合材料について、また新しいリサイクルの道が拓けました。

塩ビ壁紙は、表面に塩ビ樹脂を、裏面に紙を使用して貼り合わせた複合材料です。現在、壁紙メーカーから排出される規格外品や工場端材等の廃壁紙の一部は、叩解技術により塩ビ分と紙分に分離して、塩ビ分は床材などに、紙分は猫砂（排泄物処理材）に利用されマテリアルリサイクルされています。



成果報告会

本技術の特長は、壁紙を塩ビと紙に分離する手間を省いて、塩ビ壁紙 100%のまま原料の一部として配合し、高速・高剪断混合溶融機を用いて、短時間に微細化・分散して、再生コンパウンドを製造することです。



高速・高剪断混合溶融機

プロセスは、壁紙廃材を予め破碎して、塩ビコンパウンド（バージン）や加工助剤など他の原料と共に、高速・高剪断混合溶融機に投入して混合し、高速攪拌による剪断と摩擦熱によって原料を均一に分散させ、熱い状態で取り出して次の工程で5~10mmの大きさに加工して、再生コンパウンドができます。

ここで使用する混合機は容量が小型で混練時間は短く制約があることから、安定した操作を行うためには原料の計量精度と投入時間のコントロールが重要なカギでした。投入するタイミングがずれてしまうと混合機の温度が下がって昇温不足が生じて分散不良になる場合や、逆にタイミングが早すぎても

混練が不足して分散不良につながることもあるため、最適な条件出しに苦労した様子が窺えました。

今回の試験では大手ゼネコンの協力を得て、建築現場から回収された施工時の壁紙端材を使用して再生コンパウンドが作製されました。それをを用いて成形メーカーで工事現場用安全マットの生産が行われ、現在、同ゼネコンが自社の工事現場に敷設して試用しています。



安全マット

本件の塩ビ壁紙のマテリアルリサイクル技術において、(株)照和樹脂のコンパウンド(配合)技術の寄与は大きく、さらに進化して付加価値のあるさまざまな用途への展開が期待されます。

■ 随想

◇2002年 レバノン旅行記(8) —お医者さん大バーゲン—

一般社団法人 日本化学工業協会 若林 康夫

前回、レバノン人の学歴が高いことをお伝えしました。レバノンには医科大学(含、医学部)がありません。このため、海外に留学したレバノン人の多くが医学部に進学します。医者の資格があれば、どこに行っても食いはぐれる事はありませんから。

ところが、政情も安定し、経済的にも落ち着いてきた途端、海外で開業していたお医者さんがどっとレバノンに戻って来ました。更に、若い人の医者志向が強いレバノン。日本以上の医師過剰状態に。

アメリカと同様、レバノンには国民健康保険がありません。個人で医療保険に入るか、自己負担をするしかありません。医師の報酬も自由競争。腕がいいと評判のお医者さんの診療代は高く、名前の売れていないお医者さんは大バーゲン。おまけに医師過剰ですから、大変な事態に。

一部の腕のいい医師を除いて、まずはお客さんに来てもらわなくてはと広告合戦。新聞でも「こんなに素晴らしい資格の医師の診療が、たったこれだけ」「私はこの分野の専門家。私に任せれば大丈夫」というような広告が並んでいます。町を歩いていても、病院の看板があるわあるわ。まさに犬も歩けば病院に当たる状態。本当に腕がよくて、それなりに診療代も安いお医者さんは誰なんでしょうねえ。

これは、至る所に見られる個人病院の看板
です。

映っている看板全てが個々の病院。

このビルの中だけでいくつの病院があるの
やら…



(つづく)

次回は、(9) - 英語は自然に覚えましょう - です。

⇒ [バックナンバー](#)

■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)



■ 東京都中央区新川 1-4-1

■ TEL 03-3297-5601 ■ FAX 03-3297-5783

■ URL <http://www.vec.gr.jp> ■ E-MAIL info@vec.gr.jp